

外部評価結果の公表シート

整理番号	事業名
68	沿岸漁業構造改善対策事業費補助金

所管部局
農林水産部水産課

※()の数字は、委員数

所管部局の評価			外部評価	
評価項目	評価内容	評価内容の説明	評価の妥当性	「妥当でない」と評価した理由
必要性	事業の市民ニーズ	高まっている	妥当(5) 妥当でない(0)	
	市の関与の妥当性	法令・条例等の根拠により関与が妥当	妥当(5) 妥当でない(0)	
成果・有効性	成果の達成状況	達成している	妥当(1) 妥当でない(4)	<ul style="list-style-type: none"> ○未来における研究開発にお金を回していくべき。 ○成果の達成状況の検証が不十分である。 ○成果が定量化されていない。 ○漁家の種苗入手のための補助ではないか。 ○より多くの収量を得るための補助とはいえない。 ○目的がはっきりしておらず、成果が出ていない。 ○漁家の生活を補助しているように見える。
	事業目的実現のための手段	現手段も有効だが他の手段も考えられる	妥当(2) 妥当でない(3)	
コスト・負担	コストの節減度	節減できている	妥当(0) 妥当でない(5)	<ul style="list-style-type: none"> ○決算報告からはわかりづらい。 ○自分たちの生活のためであることから、自助努力を促すべき。 ○補助割合が妥当かどうかの検証が必要である。 ○この事業により漁家所得が増加しているのであれば、補助割合は下げていくべきではないか。 ○支援の方向性がおかしい。自己負担を増やすべき。
	将来コスト増減見込み	現在より増加する可能性がある	妥当(1) 妥当でない(4)	
	受益者負担の適正度	適正である	妥当(0) 妥当でない(5)	
執行方法	外部委託の可能性	評価対象外		
	実施方法の効率性	評価対象外		

所管部局による今後の改善策	
基本方針	当面現状維持



今後の改善策について	意見・提言
現行どおり (0) 改善(5) 当面現状維持(0) 廃止(0)	<ul style="list-style-type: none"> ○気候、あるいは海水温度の変化がある中で、前年からの踏襲ではいけない。 ○研究開発に力を入れてほしい。 ○補助金が交付されなくとも、事業を実施していけるよう努力・指導するとしている以上、現状維持とせず改善と評価すべき。 ○事業目的と成果指標を明確にする必要がある。 ○定量的指標で成果をはかるべき。 例) 事業ありと事業なしの地域を比較 ○研究機関を交えて増収・増益を目指す補助に切り替えてはどうか。
外部評価委員会としての提言 改善	

